



文字

小

標準

大

検索

×

| ホーム | アクセス | お問い合わせ | プライバシーポリシー | サイトマップ |

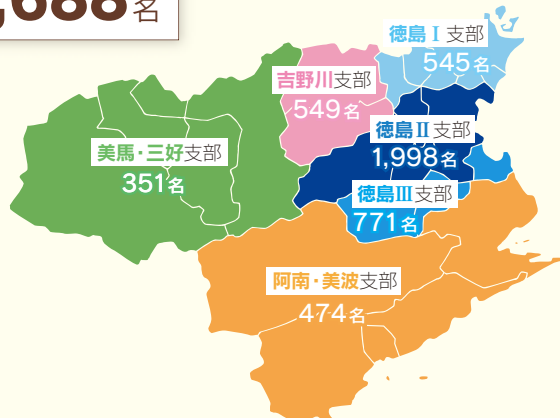


残暑お見舞い
申し上げます

CONTENTS

会長挨拶	2
春の叙勲および表彰	2
令和2年度 徳島県看護協会通常総会	3
2020(令和2)年度 役員・委員名簿	3
令和2年度 日本看護協会通常総会	5
特定看護師・認定看護師に聞く	6
新型コロナウイルス感染症における 徳島県看護協会の取り組みについて	8
感染管理認定看護師からみた 新型コロナウイルス感染症対策について	8
助産師活用推進事業の取り組みについて	9
AWAナースサポートセンターだより	9
ナースセンターだより	10
ワンポイントアドバイスNo.40	10
編集後記	10

8/1
現在
2020年度
会員数
4,688名



(スマートフォン対応)

Web 受講

協会ニュース「和」

日本看護協会

日本看護協会出版会

会長挨拶

会員の皆様、日頃は公益社団法人徳島県看護協会の運営につきまして、多大なご協力をいただき、誠にありがとうございます。

去る5月30日に新型コロナウイルス感染拡大防止のため大幅縮小の中、令和2年度通常総会が無事に終えることができました。厚く感謝申し上げます。

まずは、新型コロナウイルス感染拡大が再び全国に広がり、徳島県においても毎日のように感染確認が報告される中、感染予防や医療に日夜最前線で働いておられる全ての看護職の方々に、心から敬意を表しますとともに感謝申し上げます。

今年は徳島県看護協会は設立40周年を迎え、またナイチンゲール生誕200年の記念すべき年でもあります。新型コロナウイルス感染症拡大により、看護に求められている役割や使命は、ナイチンゲールの「看護の覚書」から色あせることなく、また看護協会設立当初から変わらない「看護の原点」を再認識する機会でもありました。

また、感染拡大防止の観点から、看護協会設立40周年記念事業を含め、多くの事業や研修が中止・縮小せざるを得ない状況で、会員の皆様には大変ご迷惑をおかけしておりますが、会員皆様方のニーズに対応できるよう創意工夫を凝らしながら、事業運営を実施したいと思います。

今後、第2波、第3派を乗り切るためにも、今できる備えや対応について、看護協会としてできることを行って参ります。

「つなぐ」をキーワードに、看護の心は一つ、今こそ看護の力で健康な社会を！力を合わせて乗り越えていきましょう。

今後も看護職が誇りとやりがいを持って働き続けられるよう事業を推進して参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。



会長 稲井 芳枝



おめでとうございます 春の叙勲 および 表彰



瑞宝双光章

野口 三恵子 様



医療功労賞

川野 公江 様



徳島県表彰

三木 満理子 様



日本看護協会会長表彰

多田 敏子 様

令和2年度

公益社団法人 徳島県看護協会

通常総会開催

令和2年
日時 5月30日(土) 9:30~10:30

令和2年度

〈重点目標〉

- 1 地域包括ケアにおける看護機能の強化
- 2 専門性を高める生涯教育の推進
- 3 健康で安全に働き続けられる職場環境づくり
- 4 社会の期待に応える地域活動
- 5 本会の目的を達成するための基盤整備
- 6 設立40周年記念事業

〈議案〉

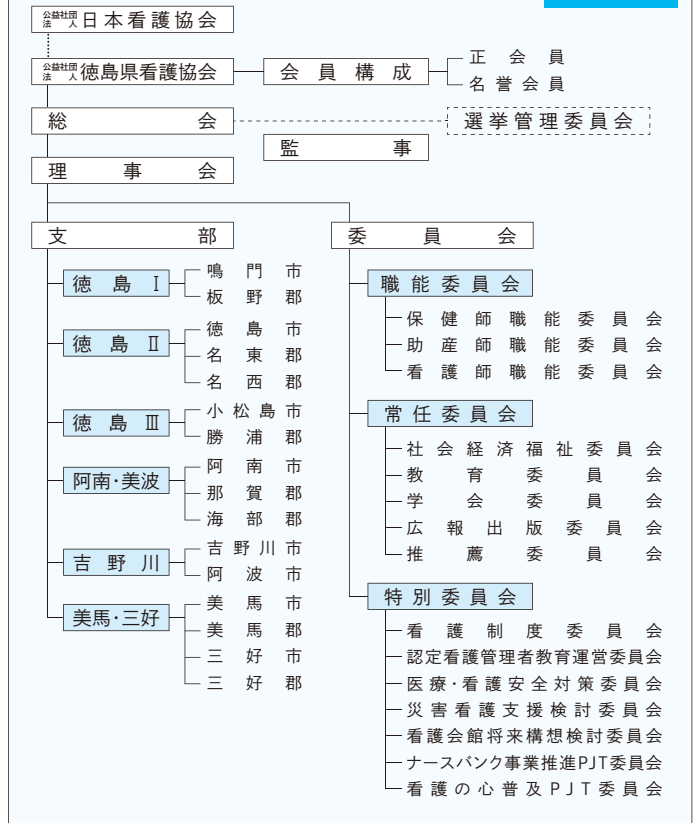
- 第一号議案 令和元年度決算報告(案)及び監査報告
第二号議案 令和2年度役員及び推薦委員の改選並びに令和3年度日本看護協会代議員・予備代議員の選出について

令和3年度

日本看護協会通常総会代議員・予備代議員候補の選出について

職 種	代議員	予備代議員1	予備代議員2
保健師	松村美智子	今川 玲代	横山 敦子
助産師	上田 美香	境 貴世	知野 広美
看護師Ⅰ	岩本 優子	岸本小百合	渡部 光恵
看護師Ⅰ	折村 秀美	近藤ひとみ	吉野 明子
看護師Ⅱ	廣瀬久美子	梅津 友紀	岡 香於里
准看護師	高城 晴美	高松美由貴	

組 織 図



2020 (令和2) 年度

役員

役職・職能	氏 名	担当委員会名	勤 務 先
会 長	保・稲井芳枝		公益社団法人徳島県看護協会
第一副会長	看・木田菊恵	支部活動総括・学会担当・看護会館将来構想検討委員会	四 国 大 学 看 護 学 部
第二副会長	看・森 恭子	職能活動総括・看護制度委員会	徳島文理大学保健福祉学部
専務理事	保・今川玲代	災害看護支援検討委員会・ナースバンク事業推進プロジェクトチーム委員会・看護の心普及プロジェクトチーム委員会	公益社団法人徳島県看護協会
常任理事	看・石山由紀子	認定看護管理者教育運営委員会・医療・看護安全対策委員会	公益社団法人徳島県看護協会
理 事	保・松村美智子	保 健 師 職 能 委 員 長	徳島県西部総合県民局保健福祉環境部(三好保健所)
〃	助・上田美香	助 産 師 職 能 委 員 長	徳 島 大 学 病 院
〃	看・岩本優子	看 護 師 職 能 委 員 長	徳島赤十字ひのみね総合療育センター
〃	看・喜来浩美	徳 島 Ⅰ 支 部 長	徳 島 県 鳴 門 病 院
〃	看・橋本幸子	徳 島 Ⅱ 支 部 長	徳 島 市 民 病 院
〃	看・久米宏実	徳 島 Ⅲ 支 部 長	徳 島 赤 十 字 病 院
〃	看・千田幸代	阿 南・美 波 支 部 長	JA徳島厚生連阿南医療センター
〃	看・三木真澄	吉 野 川 支 部 長	JA徳島厚生連吉野川医療センター
〃	看・宮本美恵	美 馬・三 好 支 部 長	徳 島 県 立 中 央 病 院
〃	看・佐藤晴久	広 報 出 版 委 員 会	藍 里 病 院
〃	看・岩佐幸恵	教 育 委 員 会	徳島大学大学院医歯薬学研究部
〃	看・美馬敦美	社 会 経 済 福 祉 委 員 会	徳 島 県 立 中 央 病 院
〃	准・川原良子	看 護 制 度 委 員 会	伊 月 病 院
監 事	〃 外 郷 孝志洋平		さくら税理士法人
〃	看 篠原 静		自 宅

・印の理事はR1、R2年度任期

職能委員

	氏 名	勤 務 先
保健師職能委員会	松村美智子	徳島県西部総合県民局保健福祉環境部（三好保健所）
	・金山三恵子	四 国 大 学 看 護 学 部
	佐藤裕美	徳島県教育委員会福利厚生課
	武市有紀子	徳島県東部保健福祉局（吉野川保健所）
	・中内英理香	徳島県西部総合県民局保健福祉環境部（美馬保健所）
	村橋丈彦	鳴 門 市 役 所
助産師職能委員会	・上田美香	徳 島 大 学 病 院
	小川喜久実	阿 南 医 療 セ ン タ ー
	境 貴世	徳 島 県 立 中 央 病 院
	・知野広美	つ る ぎ 町 立 半 田 病 院
	富士本里美	吉 野 川 医 療 セ ン タ ー
	・美馬良美	徳 島 赤 十 字 病 院
看護師職能委員会	岩本優子	徳島赤十字ひのみね総合療育センター
	梅津友紀	TAOKAメディカル・ウェルフェアシステム
	大西由香	藍 里 病 院
	・岡香於里	た ま き 青 空 病 院
	・小林結花	徳 島 県 立 中 央 病 院
	・近藤ひとみ	徳 島 県 立 三 好 病 院
	寺尾聡子	独) 国立病院機構徳島病院
	・廣瀬久美子	手 束 病 院
	・吉野明子	徳 島 市 民 病 院
	渡部光恵	四 国 大 学 看 護 学 部

・印の方はR1、R2年度任期

常任委員

	職能	氏 名	勤 務 先
社会経済福祉委員会	保	・國 見 華 子	徳島県東部保健福祉局 (徳島保健所)
	保	西 谷 範 子	徳島県西部総合県民局保健福祉環境部 (美馬保健所)
	助	・坂 東 美 穂	つ る ぎ 町 立 半 田 病 院
	看	岡田美千子	亀 井 病 院
	看	廣瀬千江美	吉 野 川 医 療 セ ン タ ー
	看	・森 本 美 香	徳島赤十字ひのめね総合療育センター
教育委員会	保	・尾 崎 清 花	徳島県東部保健福祉局 (徳島保健所)
	保	・吉岡美紗稀	徳島県東部保健福祉局 (吉野川保健所)
	助	・坂 口 朋 枝	阿 南 医 療 セ ン タ ー
	助	・新居アユ子	四 国 大 学 看 護 学 部
	看	・岩 佐 武 彦	徳 島 県 立 中 央 病 院
	看	・黒 川 布 美	独) 国立病院機構東徳島医療センター
	看	・作 田 久 美	徳 島 県 立 総 合 看 護 学 校
	看	四 宮 広 美	徳 島 大 学 病 院
	看	西 分 延 代	川 島 病 院
	看	橋本久美子	徳 島 赤 十 字 病 院
	看	堀江江美子	吉 野 川 医 療 セ ン タ ー
	看	前 川 輝 実	徳島赤十字ひのめね総合療育センター
	看	南 川 貴 子	徳 島 大 学 大 学 院 医 歯 薬 学 研 究 部
	看	・三 宅 弘 江	阿 波 病 院
	看	・山田裕美子	徳 島 市 民 病 院
	看	山 元 明 美	T A O K A こ こ ろ の 医 療 セ ン タ ー
学会委員会	保	横 山 敦 子	徳島県東部保健福祉局 (吉野川保健所)
	助	・森 脇 智 秋	徳 島 文 理 大 学 保 健 福 祉 学 部
	看	太 田 結	独) 国立病院機構東徳島医療センター
	看	・蔭 山 綾 子	阿 南 医 療 セ ン タ ー
	看	・桑村富久枝	徳 島 赤 十 字 病 院
	看	・板 東 孝 枝	徳 島 大 学 大 学 院 医 歯 薬 学 研 究 部
広報出版委員会	看	・森 本 聖 子	徳 島 大 学 病 院
	保	・近 藤 友 紀	徳島県東部保健福祉局 (徳島保健所)
	保	吉 村 尚 美	四 国 大 学 看 護 学 部
	助	岡 崎 和 世	徳 島 県 立 三 好 病 院
	看	・笹 松 香 奈	阿 南 医 療 セ ン タ ー
	看	武 田 恭 典	徳 島 県 立 中 央 病 院
	看	・萩 原 梨 花	独) 国立病院機構東徳島医療センター
	看	増 田 恵 里	徳 島 市 民 病 院
推薦委員会	看	・米 田 泰 代	徳 島 赤 十 字 病 院
	保	・唐 谷 和 子	徳島県東部保健福祉局 (徳島保健所)
	保	中 川 真 由 美	徳島県西部総合県民局保健福祉環境部 (美馬保健所)
	助	・立 尾 浩 美	徳 島 大 学 病 院
	助	辻 岡 真 紀	徳 島 県 立 三 好 病 院
	看	・井 上 礼 子	吉 野 川 医 療 セ ン タ ー
	看	尾 崎 貴 美 子	徳 島 赤 十 字 病 院
	看	藤 田 洋 子	徳 島 県 立 海 部 病 院
	看	・藤 本 藤 枝	徳 島 県 立 中 央 病 院
	看	・三 原 美 子	徳 島 市 民 病 院
	看	宮 崎 明 美	徳 島 県 鳴 門 病 院

6支部

	支 部 名	支 部 長 名	勤 務 先
支部長	美馬・三好支部	宮 本 美 恵	徳 島 県 立 中 央 病 院
	吉野川支部	・三 木 真 澄	吉 野 川 医 療 セ ン タ ー
	徳島支部Ⅰ	・喜 来 浩 美	徳 島 県 鳴 門 病 院
	徳島支部Ⅱ	・橋 本 幸 子	徳 島 市 民 病 院
	徳島支部Ⅲ	・久 米 宏 実	徳 島 赤 十 字 病 院
	阿南・美波支部	千 田 幸 代	阿 南 医 療 セ ン タ ー

・印の方はR1、R2年度任期

特別委員

	職能	氏 名	勤 務 先
看護制度委員会	看	阿 部 純 子	き た し ま 田 岡 病 院
	看	河 村 恵 里 子	徳 島 県 立 総 合 看 護 学 校
	看	花 岡 賀 美	徳 島 県 保 健 福 祉 部 医 療 政 策 課
	看	英 直 美	徳 島 県 鳴 門 病 院 附 属 看 護 専 門 学 校
	看	比 松 利 江	阿 南 医 療 セ ン タ ー
	看	森 恭 子	徳 島 文 理 大 学 保 健 福 祉 学 部
認定看護管理者教育運営委員会	准	井 野 真 知 子	鴨 島 病 院
	看	石 川 和 恵	徳 島 県 立 海 部 病 院
	看	石 山 由 紀 子	徳 島 県 看 護 協 会
	看	岩 佐 幸 恵	徳 島 大 学 大 学 院 医 歯 薬 学 研 究 部
	看	庄 野 ま ゆ み	徳 島 赤 十 字 病 院
	看	高 開 登 茂 子	徳 島 大 学 病 院
医療・看護安全対策委員会	看	三 木 真 澄	吉 野 川 医 療 セ ン タ ー
	看	森 恭 子	徳 島 文 理 大 学 保 健 福 祉 学 部
	看	小 川 薫	徳 島 県 立 中 央 病 院
	看	葛 籠 比 佐 美	吉 野 川 医 療 セ ン タ ー
	看	早 淵 由 美	徳 島 赤 十 字 病 院
	看	原 田 路 可	徳 島 大 学 病 院
災害看護支援検討委員会	看	真 柴 敦 子	徳 島 市 民 病 院
	看	村 上 ま ど か	徳 島 県 立 海 部 病 院
	看	石 山 由 紀 子	徳 島 県 看 護 協 会
	保	今 川 玲 代	徳 島 県 看 護 協 会
	保	徳 永 あ い こ	徳 島 県 保 健 福 祉 部 医 療 政 策 課
	保	山 下 留 理 子	徳 島 大 学 大 学 院 医 歯 薬 学 研 究 部
看護会館将来構想検討委員会	看	大 西 須 真 子	吉 野 川 医 療 セ ン タ ー
	看	桑 村 直 美	阿 南 医 療 セ ン タ ー
	看	後 藤 妙 子	徳 島 市 民 病 院
	看	齊 藤 ゆ か り	徳 島 県 立 総 合 看 護 学 校
	看	畠 中 カ ズ 子	つ る ぎ 町 立 半 田 病 院
	看	藤 本 華 織	徳 島 赤 十 字 病 院
オスバン事務部ロエテチ会委員	保	緒 方 静 子	徳 島 県 看 護 協 会
	看	木 田 菊 恵	四 国 大 学 看 護 学 部
	看	近 藤 佐 地 子	大 久 保 病 院
	看	滝 下 優 子	徳 島 県 鳴 門 病 院
	看	中 西 仁 美	吉 野 川 医 療 セ ン タ ー
	看	名 西 明 美	徳 島 県 立 三 好 病 院
看護の心普及プロジェクトチーム委員会	看	原 良 江	徳 島 市 民 病 院
	看	藤 原 都 志 子	訪 問 看 護 ス テ ー シ ョ ン 海 部
	看	松 崎 和 代	自 宅
	看	森 弥 生	阿 南 医 療 セ ン タ ー
	保	徳 永 あ い こ	徳 島 県 保 健 福 祉 部 医 療 政 策 課
	助	水 田 克 子	徳 島 県 立 総 合 看 護 学 校
	看	石 川 早 由 里	阿 南 医 療 セ ン タ ー
	看	岡 田 由 美 子	そ よ か ぜ 病 院
	看	笹 田 真 紀	川 島 病 院
	看	西 村 久 美 子	阿 波 病 院
	看	住 吉 貴 美	徳 島 県 看 護 協 会
	保	今 川 玲 代	徳 島 県 看 護 協 会
	看	花 岡 賀 美	徳 島 県 保 健 福 祉 部 医 療 政 策 課
	看	勝 瀬 昌 代	徳 島 県 立 海 部 病 院
	看	岸 由 希 枝	つ る ぎ 町 立 半 田 病 院
	看	喜 来 浩 美	徳 島 県 鳴 門 病 院
	看	久 米 宏 実	徳 島 赤 十 字 病 院
	看	千 田 幸 代	阿 南 医 療 セ ン タ ー
	看	名 西 明 美	徳 島 県 立 三 好 病 院
	看	西 村 久 美 子	阿 波 病 院
	看	橋 本 幸 子	徳 島 市 民 病 院

令和2年度



日本看護協会 通常総会

令和2年 6月11日(木)

令和2年度

公益社団法人 日本看護協会代議員

- 保 松村美智子 徳島県西部総合県民局保健福祉環境部(三好保健所)
- 助 上田 美香 徳島大学病院
- 看 折村 秀美 TAOKA メディカル・ウェルフェアシステム
- 看 廣瀬久美子 (医) 手束病院
- 准 川原 良子 (医) 伊月病院

令和2年度の日本看護協会通常総会は、福岡で開催予定となっていました。新型コロナウイルス感染症に対応するため規模が縮小され、6月11日(木) JNA ホール(東京)にて開催されました。代議員も会場への参加ではなく、事前に「議決権行使書」を提出する形での参加となりました。また、例年翌日に開催されている全国職能別交流集会も中止となり、大幅に変更された開催となりました。

通常総会には、「議決権行使書」が提出された740人の代議員と会場の代議員10人、日本看護協会役員13人、選挙管理委員など8人が参加し、議決事項2議案、報告事項4事項が協議、報告されました。

議決事項は第一号議案「名誉会員の推薦(案)」は承認され、18名の方が名誉会員となりました。第二号議案「2020年度改選役員及び推薦委員の選出について」では推薦委員会候補以外に立候補はなく、候補者全員が選出されました。

報告事項では、令和元年度の事業と決算および監査の報告と、令和2年度の重点政策・重点事業ならびに事業計画と資金収支予算および収支予算が報告されました。

〈令和2年度 重点政策・重点事業〉

1. 看護基礎教育制度改革の推進
2. 地域包括における看護提供体制の構築
3. 看護職の働き方改革の推進
4. 看護職の役割拡大の推進と人材育成
5. 看護職の資格の管理・活用基盤の構築

5つの重点政策・重点事業とは別に①2040年を見据えた看護のあり方②継続教育の再編③災害時の看護支援活動の強化についても取組を継続すること、「Nursing Now キャンペーン」も引き続き取組むこととなりました。





特定看護師・認定

特定看護師になると何か変わる？



徳島大学病院
ICU副看護師長
集中ケア認定看護師・特定看護師
河原 良美

2020年3月に日本看護協会研修学校特定行為研修救急・集中モデルを修了し4ヵ月が経過しました。医師とのディスカッションや臨床推論によりケアの幅が広がり、タイムリーな介入を実感しています。特定看護師の強みはケアとキュアの融合です。そして、‘治療だから仕方ない’を‘治療中でもしてもらえ’へ変えることで、患者目線で介入できる機会が増えました。また医師のタスクシェアだけでなく看護師の安心感に繋がる存在になれればと思っています。

患者集団から個々の患者へ 活動の拡がり



独立行政法人
国立病院機構徳島病院
感染管理認定看護師・特定看護師
後藤 亜香里

これまで、感染管理認定看護師として、医療関連感染対策など患者や職員といった院内全体の「集団」に対する感染管理の役割を担っていました。特定看護師研修修了後は、感染管理認定看護師としての活動を基盤とし、患者一人ひとりの症状観察を行い、抗菌薬の適正使用、カテーテルの挿入から抜去までの一連の管理を主治医と連携し、感染症が疑われる患者への早期介入、重症化を回避できるよう、「個々の患者」への積極的な介入を行っています。今後も、チーム医療のキーパーソンである看護師としての役割を十分に発揮できるよう活動していきたいと思っています。

タイムリーな糖尿病療養支援をめざして



JA徳島厚生連 吉野川医療センター
・特定看護師
血糖コントロールに係る薬剤投与関連
栄養・水分管理に係る薬剤投与関連
・糖尿病看護認定看護師
藤岡 美恵香

糖尿病看護認定看護師として、糖尿病患者さんの生活に沿った療養支援を行っています。2020年3月、血糖コントロールに係る薬剤投与関連（インスリン投与量の調整）の特定行為研修を修了しました。今後は研修で学んだ専門的な知識、技術を活用し、医師と連携し、患者の意向や生活に沿ったインスリン調整を行い、タイムリーな糖尿病療養支援をめざしていきます。また、糖尿病看護の専門職として、院内だけでなく地域の多職種の方と連携し、患者さんの在宅療養を支援していきたいと考えています。

在宅ニーズに応える食支援



徳島赤十字ひのみね総合療育センター
摂食嚥下障害認定看護師
青江 美弥

障がい児者施設の摂食嚥下障害看護CNとして、院内の研修や食事支援の指導など、病棟を中心に認定の活動を行っています。院外では、他施設で研修の講師や、誤嚥を防ぐポジショニング研修のサポーターとして四国内での活動に参加しています。当センターでは、今年度より嚥下外来が開設されました。今後は在宅で食べる事に問題を抱える方への相談・指導など、嚥下外来での活動に力を入れていきたいと考えています。

質の高い放射線治療が提供できるように



徳島大学病院
がん放射線療法看護認定看護師
伊井 智子

2017年7月より認定看護師として活動しています。放射線療法は放射線を用い腫瘍部に照射する治療法です。局所治療であり、正常な部分への照射を行った場合のリスクは非常に大きく、治療の再現性を保つことが重要です。治療が安全で安楽に受けることができ、完遂できるように支援を行っています。また、がん治療の多くは、患者の気力の有無にも関わってきます。患者、家族にしっかりと寄り添い、認定看護師として身体だけでなく心のケアにも重点をおいた看護を心がけています。

子どもの安全を守るために



徳島赤十字病院
小児救急看護認定看護師
清井 恵子

病院を受診する小児救急患者は、心肺蘇生が必要になる重症な子どもから、軽症な子どもまで様々です。救急外来ではトリアージを行ない適切なタイミングで治療につなげたり、処置前に年齢に合わせたプレパレーションを行ったりして、子どもが安全に医療を受けられるように関わっています。また、保護者の戸惑いや心配事を聴き、解決できるように支援を行っています。これから子どもの安全を守るような看護を目指していきたいと思っています。

看護師に^き聞く



赤ちゃん和家人の力を支える



徳島市民病院
新生児集中ケア認定看護師
佐藤 美紀

赤ちゃんが入院することは、思い描いていた理想の出産と違い、ご家族にとって不安や悩みが大きくなるのしかかります。新生児集中ケア認定看護師の役割は、医療的ケアを必要とする赤ちゃんの生理的安定と成長・発達への個別的なケアの実践、家族への支援をすることです。赤ちゃんのご家族の心を感じとり、ご家族の思いを共有しながらチームの一員としてケアに参加できる愛情あふれるNICUを目指して今後取り組んでいきたいと考えています。

みんなを笑顔にできる看護を



つるぎ町立半田病院
皮膚・排泄ケア認定看護師
谷 玲子

当院では初のCNで、まず「CNとは何か？」から始まりました。最近では段々と認知され、院内で私を見つけ笑顔で駆け寄っての質問攻撃、周辺の病院や施設等からの問い合わせや研修依頼、在宅への同行訪問等の機会も増えてきました。でも、何より「近くの病院に専門の方がいると安心する」「助かった」等の言葉が嬉しく、やりがいにも繋がっています。これからも日々スキルアップできるよう努力し、みんなを笑顔にできるよう頑張りたいと思います。

～認定看護師の役割を常に意識して～



徳島県鳴門病院
がん化学療法認定看護師
林 江里佳

「今」この患者さまに必要な最善の看護ケアは何であるか？タイムリーな看護を提供するため、私の頭は毎日フル回転しています。外来化学療法室で患者さまの副作用を観察し、在宅での過ごし方の情報をもとに、副作用対策と一緒に考え、多職種と協働して治療継続への支援と共に心理社会的支援を行っています。そして、がん看護に携わる看護職に対して的確な教育を行い、いつでも相談しやすい認定看護師であり続けること、それが私の役割と考えています。

緩和ケアを学んで



JA徳島厚生連
阿南医療センター
緩和ケア認定看護師
平田 理保

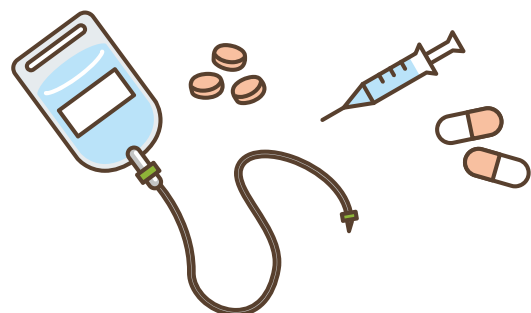
私は、今年4月より開設された緩和ケア病棟で勤務しています。日々、患者さんやご家族から多くの学びと感動をいただいています。個々に寄り添い、『その人らしく日常生活を送ることができるよう』トータルペインの視点でアセスメントし支援することを大切にしています。緩和ケアを学び、様々な方々と出会えたことに感謝しています。これからも多職種と協働しながら、患者さんやご家族に寄り添ったケアが提供できるよう努めていきたいと考えています。

より良い周術期看護をめざして



徳島県立中央病院
手術看護認定看護師
増田 千佳

手術は患者さんにとって人生の一大イベントだと考えます。そのため、手術室看護師は、手術を受ける患者さんやその家族を中心とし、多職種と協働しながら患者さんをサポートしていかなくてはなりません。また、術中看護だけでなく、術前や術後の関わりも大きな役割を担っています。今後も、患者さんが安全に安心して手術を受けられるよう、周術期看護の専門性を生かし、手術の安全性の向上だけでなく、より質の高い看護の提供を行っていきけるよう活動を広げていきたいです。



新型コロナウイルス感染症における徳島県看護協会の取り組みについて

新型コロナウイルス感染症対応が長期に及ぶ中、現場で頑張っている看護職の皆様を支援するための、当協会の取り組みについて報告いたします。

1 要望について

- ① 3月当初には、県の補助を受けている「県訪問看護支援センター」から訪問看護ステーションへ、マスクや消毒薬の不足や困り事のアンケート調査を実施し、逼迫している状況を「医療資材の確保支援に対する緊急要望」として県に提出しました。
- ② 4月には、日本看護協会とともに、医療機関で自らの感染に対する危険を顧みず、時としていわれない誹謗中傷を受けながら、感染患者の対応や、疑いのある患者に対応した看護師への危険手当の支給の要望、帰宅せずにホテル等での宿泊する費用の補助の要望、また、妊娠中の看護職の休業に伴っての代替え職員の雇用費用への補助金支給の要望を合わせて行いました。働きかけた結果、看護師個人への危険手当が支給されることが決まりました。また、国の第2次補正予算では、新型コロナウイルス感染症の対応にあたった医療従事者に慰労金として20万円が支払われることも決まりました。

2 新型コロナウイルス関係業務の協力要請への対応について

- ① 帰国者・接触者相談センターとして多忙を極める保健所から委託を受け、AWAナースの方が、ローテーションを組んで相談を受けていただいています。的確な相談対応で、保健所からも感謝されています。
- ② 医師会が県から委託を受けて実施している「地域外来・検査センター」でのPCR検査介助の協力を行っています。
- ③ 訪問看護ステーション・病院に対して、今後の新型コロナウイルス感染症対策の課題についてアンケート調査を実施し、施策提言等の検討を行っています。

3 研修会について

新型コロナウイルス感染症の拡大により認定看護管理者教育や、新人看護職の研修、実習指導者講習会など多くの研修会を中止や無期限延期としております。しかしながら、緊急事態宣言が解除となり、3密を避け受講人数を制限するなど感染予防に留意しながら可能な研修会を開催することとしております。詳しくは、協会ホームページをご覧ください。なお、感染拡大により中止せざるを得ない場合は、ホームページ等で広報させていただきますので、ご理解とご協力いただきますようお願いいたします。

4 マスク配布について

県等関係団体からマスクの寄贈を受けましたので、会員へマスクをお届けしました。

これからも当協会として、看護職の処遇が改善され、看護職が働き続けられる体制整備がなされるよう会員の皆様のお声を聞きながら、様々な取り組みを行うとともに、要望を関係機関へも伝えていきたいと考えております。今後ともご協力ご支援をよろしくお願いいたします。

感染管理認定看護師からみた新型コロナウイルス感染症対策について



徳島県立中央病院
感染管理認定看護師
高野 奈央美

新型コロナウイルス感染症対策を経験して

昨年12月に中国武漢で報告された原因不明の肺炎は、新型コロナウイルス感染症「COVID-19」と名付けられ、指定感染症に指定され、現在も世界中で感染が拡大している。1月16日に国内で初めて感染者が確認され、2月には国内で経路不明者が各地で確認された。連日感染者数や死者数は増加しているという報道により、第2種感染症指定医療機関である当院は、治療法が確立されていないCOVID-19受け入れに対して、多くのスタッフから不安の声があがった。

そこで感染症対策は、スタッフの不安を取り除くことが最優先であると考えた。自分が感染しない、感染源にならない対応ができれば安心して受け入れができると考え、救急スタッフ、入院病棟スタッフに个人防护具の着脱訓練を実施した。また、適時受け入れ先の感染症病棟へ出向きCOVID-19の対応策の説明や、相談ができるように質問フォルダを作り、いつでも相談ができる体制を整えた。しかし、COVID-19疑い患者が来るたび、新たな疑問や問題点が明らかになり、スタッフの身体的・精神的な負担が病棟の空気感から伝わってきた。COVID-19はスタッフにとって負担が大きいため、できるだけスタッフに寄り添える体制整備が必要であると感じた。

感染管理認定看護師として、私が第一に考えることはスタッフを感染から守ること、院内感染防止である。そして、私の強みは、スタッフに一番近く、動きやすい立場にあることである。それを生かし、常に現場に出向き、現場対応を中心に感染対策を行った。従来の疾患であればここまでの感染対策は必要ないと思うこともあった。しかし、COVID-19は「新型」の感染症であり、初めてのことで悩むことが多く、スタッフの不安も強いことから、現場スタッフの意見を聞き、納得できる高レベルの対策を取り入れ対応した。しかし、今改めて振り返ると、対策の強化だけではなく、現場の混乱を考慮し、対策本部会議の内容を伝達していなかったことも不安を増強させる要因だった。適時情報共有することが不安の軽減につながったのではないかと考える。

今回、COVID-19発生を経験し、まずは情報収集、情報提供を行い現場スタッフが安心して働ける環境を整える事が大切だと実感した。今後予想される第2波や、クラスター発生を見据え、さらなる感染対策の整備・強化をしつつ、早期の収束を願っている。

助産師活用推進事業の取り組みについて

公益社団法人徳島県看護協会 助産師活用推進事業アドバイザー 鈴記 洋子

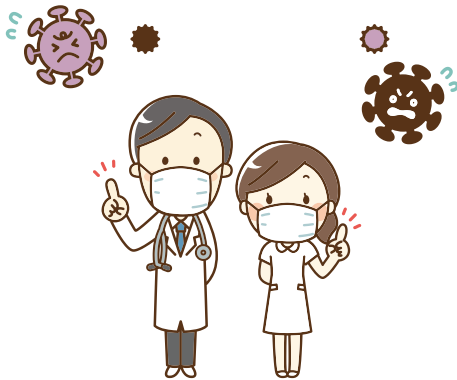
助産師活用推進事業は、平成25年・26年に厚生労働省看護職員確保対策特別事業「助産師出向支援モデル事業」として開始し、現在は、「助産師出向」に加えて、「助産所と嘱託医療機関等の連携」ならびに「院内助産・助産師外来の実施及び効果についての理解促進」の三本柱で構成されています。

徳島県看護協会では、令和元年度から県の委託を受け、助産師活用推進事業に取り組んでいます。昨年度は、徳島県の助産師の偏在や出向のニーズを明らかにするために、病院・診療所・助産所の45施設に実態調査を行いました。その結果を基に、12月から翌3月まで徳島大学病院とつるぎ町立半田病院間で助産師出向を実施しました。現在は、3月から8月末まで、2人目の出向を同病院間で、実施しています。本年2月には、出向報告会を開催しました。出向先病院からは、合併症事例への適切なアドバイスを受けることが出来て良かった。出向者からは、自然分娩介助の機会をいただき、助産実践力の向上につながった等の報告を受けました。

今年度は、「助産師出向」に加えて、「助産所と嘱託医療機関等の連携」および「院内助産・助産師外来の実施及び効果についての理解促進」に向けても取り組んでいます。

助産所と嘱託医療機関等の連携を推進するために、助産所への実態調査を実施し、医療機関との連携の状況を明確化しています。その後ワーキンググループを立ち上げ、連携できる医療機関一覧の作成やどのような書式で連携すべきか等について検討していく予定です。

また、院内助産の理解促進に関しては、産科病院に実態調査を行いました。その結果、院内助産を実施している病院は3施設でした。調査結果から研修ニーズを把握し、院内助産を実施するために必要な研修を企画する等、院内助産開設に向けた支援も行っていく予定にしています。



新型コロナウイルス感染症対策 知事感謝状
7月21日(火)贈呈されました。



AWAナースサポートセンターだより

AWAナースサポートセンターでは、退職後のAWAナースの生涯活躍を支援すると共に、AWAナースが支援することで医療現場等の看護職の確保及び看護の質向上を図ることを目指しています。現在AWAナース登録者は153名です。

今年度は、4月から「帰国者・接触者相談センター」で日々多くの方の相談に対応しています。今までの医療現場での経験をもとにまた、事前に国の動きや状況を自主学習して、1件1件丁寧に対応していただいています。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により多くのイベントや行事が中止・延期になりましたが、AWAナースの活躍場面はたくさんあります。AWAナースの皆様には快くお引き受けいただき心より感謝致しております。

今後もAWAナース登録とAWAナース活用推進にご協力お願いします。



活躍するAWAナースさん読売新聞に掲載されました。



ナースセンターだより

看護の魅力発信！

看護の日・看護週間行事やふれあい看護体験等が中止となりましたがひとりでも多くの方に、看護の仕事のすばらしさ、看護の魅力を発信したいと思いDVDを製作いたしました。看護協会ホームページに掲載しています。是非ご覧ください。



あなたの力を必要としています！

未就業の看護職の方へ

看護の現場はあなたの力を必要としています。
必要とされているところで、活躍していただけないか。ナースセンターが応援しています。
復職に不安のある方は、ナースセンターへご相談ください。



復職研修のお知らせ

今年度は新型コロナウイルス感染症拡大により多くの看護職の復職が求められています。そこで随時研修として4月から1年間を通して個別対応による技術演習、ビデオ・資料による学習等を行っています。定時研修は当初予定しておりました講義は中止し、9月から技術演習のみ開催することとしております。現在、就業されていない看護職の方のご参加をお待ちしています。

東部・南部・西部の県内3地域で受講が可能です。

詳しくは、看護協会ホームページ《令和2年度 看護職復職研修（随時）について（ご案内）》でご確認ください。

勝っても負けても応援し続けるサッカーチームのサポーターのように、ナースセンターも看護職のサポーターであり続けたいと思っています。

各圏域で看護職の相談員（地域密着エリアマネージャー）が支援いたします。



看護現場でご活躍の看護職の方へ

大変な状況の中、たくさんのリスクを背負い、患者さん、利用者さん、またその家族、職員の安全を考え、日々最善を尽くされている看護職の皆様の健康をお祈りしております。

穿刺時の神経損傷に気をつけよう！



「痛い」の中
には注意するもの
があるのよ！



「痛い」って
当たり前ののでは？

- ・穿刺時に強い痛みやしびれ、放散痛などの訴えがある場合は抜針し、症状を確認する → 抜針後も症状があれば医師へ報告し、整形外科や神経内科に紹介を依頼しましょう。
- ・疼痛の訴えがあった場合は、看護記録に記載しましょう。
- ・無理に針先で血管を探らない。
- ・神経障害性疼痛は年単位で残存したり、完治しないこともあるため、「しばらくしたら治りますよ」は言ってはいけません！

- 第一選択：橈側皮静脈（外側前腕皮神経に注意）
- 第二選択：肘正中皮静脈（上腕動脈、正中神経が近い）
- 第三選択：尺側皮静脈（直下に上腕動脈、正中神経がある）

Nursing now

看護の力で健康な社会を！

編集後記

協会ニュース「和」の発行にあたりご協力いただいた皆様、ありがとうございます。今後も皆様が身近に感じる話題を提供してまいります。（広報出版委員一同）